



事務員 河野 純子

遠くは高千穂の嶺、錦江湾にそびえ立つ雄大な桜島や
鹿児島市の街地が一望に・・・何度も見たい景色がここにあります・・・

武岡トンネルに近い海拔110mの高台にある大好きな長島美術館。今は来月末日まで開催されている特別企画展「生誕90年記念／相田みつを展」への来場者で盛況です。でも、お勧めしたいのは時間を掛けてのんびり常設展を楽しんでもらうこと。27年前に開設された時から、黒田清輝、藤島武二、東郷青児などのふるさと鹿児島が生んだ芸術家の作品を展示することを一つの柱に、教科書でも馴染みのあるロダン、シャガール、ユトリクなど海外作家の作品を多く展示しているのが特徴です。

格式張らない居心地の良さも施設の特徴だと思います。例えば「わらべ」のコーナー。小休止できるスペースのガラス張りの向こうにある子供の彫刻と、彼らの成長を物語る若竹が勢いよく育っている様にはっとすることができます。配置も工夫された座り心地の良い椅子も私たちをゆっくりと落ち着かせてくれます。そんな中で、久しぶりね、また会えて嬉しいわ・・・と作品に語りかけたりする、時間と空間を楽しんでもらえると思うのです。

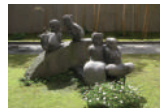
館内の展示室は7つあり、収蔵する美術品は長島企業グループの創始者・長島公佑が永年にわたって収集したもので上記の紹介以外にもオールヌーヴォーのガラスや窯別の薩摩焼など多岐に亘っています。

外に出てみれば、眼前に広がる力強い桜島と市街地の素晴らしく調和のとれた眺め。ここまで来て美術館を楽しまない手はありませんが、景観だけでなく野外彫刻もタダで楽しめるので先ずは気軽に立ち寄られてはいかがでしょうか。



マリー・ローランサンの「女王」。常設展では、鹿児島出身の芸術家の作品や教科書などでも目にしたことのある海外作家の作品など、親しみやすい作品にいつも出会えます。

鑑賞の合間に一息つける「わらべ」のコーナー。ゆったりとした時間を過ごすことができます。



眼前に広がる力強い桜島。指宿や大島から移植したピロウヤソテツ、フェニックスが、景観に彩りを添えて迎えてくれます。

— DATA —

長島美術館（公益財団法人長島文化財団）

鹿児島市武3丁目42番18号

TEL 099-250-5400

WEB <http://www.ngp.jp/nagashima-museum/>